

日本水産学会東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）議事内容

準備委員会

1. 日時場所

2012年6月2日（11:30~）、東京海洋大学白鷹館2階多目的スペース1

2. 議事概要

（1）津波被害からの復旧・復興

日本水産学会からの義援金配分と活動報告の作成を議論した。

（2）放射能汚染問題

福島県での漁業について議論した。

（3）広報について

これまで学会として行った復興支援活動の報告、科学的根拠に基づいた情報の提供、一般に対する啓蒙活動について議論した。

（4）その他

今後の委員会活動について議論した。

第1回委員会

1. 日時・場所

日時：2012年9月14日（9:00~10:00）

場所：水産大学校国際交流会館2階大研修室

2. 議事概要

（1）福島県の漁業再開に関する取組み

福島での試験操業について議論した。

（2）復興補助金の取りまとめ状況

東日本大震災復興支援活動について報告があり、東北支部の災害復興支援拠点における被災地への義捐金の支援とその活動報告書が配布された。

（3）東北支部活動

東北支部における東日本大震災に関するシンポジウムなどの活動についての報告があった。

（4）各委員会の取組み状況

広報関係についての企画案が紹介された。

（5）その他

本大会で開催される理事会主催シンポジウムについての企画案が紹介された。本委員会の下に種々の個別課題を検討する分科会の案が出された。

第2回委員会

1. 日時・場所

日時：2012年10月24日（15:30-18:15）

場所：東京海洋大学品川キャンパス1号館221号室

2. 議事概要

(1) 水産関連学協会との連携について

水産関連学協会（旧水研連）の会合が行われ、災害復興について話し合われた旨、報告があった。

(2) 平成 25 年度日本水産学会春季大会の理事会シンポジウムについて

日本水産学会春季大会理事会主催シンポジウム企画案が提出された。

(3) 日本水産学会からのアピールについて

水産物の放射能汚染問題、巨大防潮堤についての議論が行われた。

(4) 昨年度の震災関連活動のとりまとめおよび情報公開について

当学会ホームページへの情報公開の進捗状況について説明があった。

(5) 分科会の設置について

分科会の必要性及び設置の考え方、所要の分科会と構成が審議された。

(6) 日本学術会議大型施設計画・大規模研究計画について

日本学術会議科学者委員会：学術の大型研究計画検討分科会による案) について協議が行われた。

(7) その他

(ア) 東北支部の動きについて報告があった。

(イ) 日本生態学会主催の東日本大震災に関するシンポジウムについて説明があった。春季大会での漁業懇話会、環境保全委員会の東日本大震災に関するシンポジウムに関する紹介があった。

第 3 回委員会

1. 日時場所

日時：2012 年 12 月 15 日（10:00-12:15）

場所：東京海洋大学品川キャンパス白鳳館

2. 議事概要

(1) 昨年度の震災関連活動のとりまとめおよび情報公開について

義捐金、海外からの見舞金、日本水産学会のこれまでの活動を取りまとめた小冊子の作成などが協議された。

(3) 日本水産学会からのアピールについて

上述の小冊子を用いてアピールすることとなった。

(4) 東北支部の状況について

震災復興に関連する調査研究の計画および成果について協議が行われた。

(5) 分科会の進捗状況について

調査研究分科会および科学リテラシー/コミュニケーション分科会の提案があった。

(6) 平成 25 年度日本水産学会春季大会の理事会シンポジウムについて

シンポジウム企画の提案があり、協議が行われた。

(7) 水産関連学協会との連携について

日本生態学会主催シンポジウムとの共催が了承された。

(8) その他

産学官（漁協、水産学会、行政機関）による懇話会の提案があった。

第4回委員会

1. 日時場所

日時：2013年2月2日（10:00-12:00）

場所：東京海洋大学品川キャンパス

2. 議事概要

（1）昨年度の震災関連活動のとりまとめおよび情報公開の進捗状況について

学会 HP に関係する報告があった。小冊子の取りまとめに関する議論が行われた。2011 年 3 月開催のシンポジウムの内容を記録に残すことにした。

（2）日本水産学会からのアピールについて

上述の小冊子を用いてアピールする方針が再確認された。

（3）東北支部の状況について

水産試験場における人材不足、宮城県、岩手県、福島県における水産復興連携協議会等に関しての意見交換が行われた。

（4）分科会の進捗状況について

平成 25 年度に向けての構想が紹介された。

（5）平成 25 年度日本水産学会春季大会の理事会シンポジウムについて

シンポジウムにおけるパネリストとスピーカー、実行委員会が紹介された。

（6）産学官による懇話会の開催について

岩手県における状況が報告された。

（7）平成 25 年度委員会の構成および方針について

平成 24 年度の委員構成の協議が行われた。

（8）その他

環境省のグリーン復興ビジョン、淡青丸（新青丸）、旧水産学連絡会に関する情報提供があった。

第5回委員会

1. 日時・場所

日時：2013年3月9日（11:00-12:00）

場所：東京海洋大学品川キャンパス 1 号館 221 号室

2. 議事概要

（1）平成 25 年度日本水産学会春季大会の理事会シンポジウムについて

日本水産学会創立 80 周年記念理事会主催シンポジウムに関して説明があった。

（2）第 1 回水産・海洋科学研究連絡協議会の審議内容について

東日本大震災災害復興支援に関するシンポジウムを共同開催することが決定した旨、報告があった。

（3）とりまとめ小冊子の進捗状況について

内容、出版方法、配布先についての議論が行われた。

(4) 日本学術会議東日本大震災にかかわる協力学術研究団体の活動の調査(第2回)への回答について

資料が配布された。

(5) 東北支部の状況について

東北の水産業の現況について報告があった。

(6) 分科会の進捗状況について

活動計画の報告があった。

第6回委員会

1. 日時・場所

日時：2013年6月8日(土)(11:00~12:00)

場所：東京海洋大学品川キャンパス1号館221号室

2. 議事概要

(1) 平成25年度日本水産学会春季大会の理事会シンポジウムについて

シンポジウムの記録を日本水産学会誌に掲載することになったことが報告された。

(2) 第1回水産・海洋科学研究連絡協議会の審議内容について

水産・海洋科学研究連絡協議会の役員構成、東日本大震災に関するシンポジウムの開催予定が報告された。

(3) とりまとめ小冊子の進捗状況および配布先について

出版予定、印刷部数、配布先が協議され了承された。

(4) 東北支部の状況について

岩手大学の三陸水産研究センター、岩手海洋研究コンソーシアム、宮城水産復興連携協議会における近況報告があった。また、水産利用懇話会における東日本大震災に関するシンポジウム内容紹介があった。

(5) 分科会の状況について

今後の具体的な活動が協議された。

第7回委員会

1. 日時・場所

日時：2013年12月7日(土)(11:00-12:00)

場所：東京海洋大学品川キャンパス1号館221号室

2. 議事概要

報告・審議事項

(1) 水産・海洋科学研究連絡協議会について

日本学術会議主催の学術フォーラムについて報告があった。

(2) とりまとめ小冊子の配布先について

配布の完了が報告された。

(3) 東北支部の状況について

東北の水産業の現況について報告があった。また、水産庁のホームページが紹介された。

(4) 今後の方針について

本委員会の今後について協議が行われ、継続審議することになった。

(6) その他

(ア) 南海トラフ地震に関する日本学術会議主催シンポジウムの概要と発表内容が報告された。

(イ) 水産環境保全委員会主催開催予定の東日本大震災に関するシンポジウムについての紹介があった。

第8回委員会

1. 日時・場所

日時：2014年3月8日（土）（13:00~14:00）

場所：東京海洋大学品川キャンパス 1号館 220号室

2. 議事概要

(1) 東北支部（災害復興支援拠点）の状況について

机上資料（新聞記事）に基づいての説明があった。

(2) 復旧・復興支援の状況について

各委員から特段の議論はなかった。

(3) 放射能汚染問題

福島県漁業復興委員会についての紹介があった。

(4) 小冊子発刊後の活動の取りまとめ

小冊子の配布後についての議論が行われた。

(5) 今後の方針について

来期の活動についての議論が行われた。

第9回委員

1. 日時・場所

日時：2014年6月7日（土）（11:40~12:40）

場所：東京海洋大学品川キャンパス I号館 220号室

2. 議事概要

(1) 平成24・25期の活動報告

特別委員会の発足、委員会による小冊子の発行、理事会主催の東日本大震災に関するシンポジウム等が報告された。

(2) 東北支部（災害復興支援拠点）の状況について

東北支部の新事務局体制と各種情報が紹介された。

(3) 復旧・復興支援の状況について

水産庁・水産総合研究センター等による資料公表について紹介があった。

(4) 放射能汚染問題

各委員から情報に基づき議論が行われた。

(5) 今後の方針について

シンポジウムを開催する方向で議論が進められた。

(6) その他

防潮堤を含む海岸保全のあり方についての議論が行われた。

第10回委員会

1. 日時・場所

日時：2014年9月19日（金）（12:00~13:00）

場所：九州大学箱崎キャンパス文系地区共通講義棟304番ゼミ室

2. 議事概要

(1) 災害復興支援拠点および水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）からの報告

災害復興支援拠点から6月から8月における岩手県から茨城県における漁海況が報告された。また、水産総合研究センター東北区水産研究所から補足説明があった。

(2) 関係委員会からの報告

水産政策委員会、水産環境保全委員会、企画広報委員会からの報告があった。

(3) 日本学術会議からの報告

日本学術会議食料科学委員会水産学分科会の提言（全文）および東日本大震災復興支援委員会就業産業支援分科会提言の抜粋の紹介があった。

(4) 水産・海洋研究連絡協議会からの報告

水産・海洋研究連絡協議会が日本水産学会とともに主催するシンポジウムの開催予定について報告があった。

(5) 放射能汚染問題

各委員から福島県の水産業に関する情報が紹介され、議論が行われた。

(6) 今後の方針について

小冊子の続編の作成が了承された。また、来年、仙台で開催される日本水産学会秋季大会にあわせた東日本大震災に関するシンポジウムの開催を理事会と東北マリンサイエンス拠点形成事業（海洋生態系調査研究）が主催することが提案され、了承された。

第11回委員会

1. 日時・場所

日時：2014年12月6日（土）（10:30-12:20）

場所：東京海洋大学品川キャンパス

2. 議事概要

(1) 災害復興支援拠点および水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）からの報告

各種の情報が紹介されるとともに、災害復興支援拠点のホームページへの情報の掲載方法が協議された。

(2) 関係委員会からの報告

水産政策委員会、水産環境保全委員会からの報告があった。

(3) 日本学術会議からの報告

第 23 期が立ち上がったとの報告があった。

(4) 水産・海洋研究連絡協議会からの報告

協議会が開催され関係学会の活動内容などについて情報交換がなされたことなどの報告があった。

(5) 放射能汚染問題

福島県における現状について各委員から問題指摘がなされた。

(6) 今後の方針について

日本水産学会理事会の東日本大震災に関する特別シンポジウムについての説明があり、協議が行われた。また、小冊子続編の刊行についての協議も行われた。

第 12 回委員会

1. 日時・場所

日時：2015 年 3 月 7 日（土）（12:30～14:25）

場所：東京海洋大学品川キャンパス 1 号館 221 号室

2. 議事概要

(1) 災害復興支援拠点および水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）からの報告

災害復興拠点ホームページに掲載されている三陸・常磐の水産の状況の最新版の説明があった。また、水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）からの補足説明があった。

(2) 関係委員会からの報告

水産政策委員会、水産環境保全委員会からの報告があった。

(3) 日本学術会議からの報告

東日本大震災復興に関する話題が紹介された。

(4) 水産・海洋研究連絡協議会からの報告

特段の報告事項はなかった。

(5) 理事会主催シンポジウムについて

シンポジウムについての紹介があった。

(6) 放射能汚染問題

福島第一原発における汚染水漏洩問題に関する現状の紹介があった。

(7) 今後の方針について（とりまとめ小冊子続編の刊行ほか）

小冊子の続編についての協議が行われた。

第 13 回委員会

1. 日時・場所

日時：2015 年 3 月 27 日（金）（13：30～15：00）

場所：東京海洋大学品川キャンパス楽水会館小会議室

2. 議事概要

(1) 災害復興支援拠点および水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）からの報告

東北マリンサイエンス拠点形成事業に関する報告があった。また、三陸・常磐の水産の状況（2014年12月～2015年2月期）が報告された。さらに、水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）から補足説明があった。

(2) 関係委員会からの報告

水産環境保全委員会から東日本大震災に関するシンポジウムの紹介があった。

(3) 日本学術会議からの報告

東日本大震災からの水産業及び関連沿岸社会・自然環境の復興・再生に向けて」と題した特集の企画が進んでいるとの紹介があった。

(4) 理事会主催シンポジウムについて

シンポジウムのスケジュール、内容に関する改訂版が報告された、了承された。

(5) 放射能汚染問題

現状に関する話題提供があった。

(6) 今後の方針について

放射能関連で、シンポジウムを開催するなど何らかのアクションを起こすべきとの議論があった。

第14回委員会

1. 日時・場所

日時：2015年6月13日（土）（10：45～12：15）

場所：東京海洋大学品川キャンパス1号館221号室

2. 議事概要

(1) 災害復興支援拠点および水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）からの報告

三陸・常磐 水産の状況（2015年3月～2015年5月期）について、また、水産総合研究センター復興対策現地推進本部に関連する事業等の情報について説明があり、種々の議論が行われた。

(2) 関係委員会からの報告

水産政策委員会からがれきの撤去について議論したことが報告された。水産環境保全委員会からは、本年度の秋季大会（仙台）において東日本大震災に関する研究会を開催するとの報告があった。

(3) 日本学術会議からの報告

食料科学委員会水産学分会の議事内容、東日本大震災に関する公開シンポジウム開始の紹介があった。

(4) 理事会主催シンポジウムについて

内容に関する改訂版が報告され、了承された。

(5) 放射能汚染問題

特段の議論は行われなかった。

(6) 今後の方針について

印刷物の作成に関する議論が行われた。

第15回委員会

1. 日時・場所

日時：2015年9月21日（月）（18：15～19：30）

場所：東北大学大学院農学研究科第7講義室

2. 議事概要

(1) 理事会主催シンポジウムの概要報告

本日開催されたシンポジウムについての概要報告があった。

(2) 災害復興支援拠点および水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）からの報告

三陸・常磐 水産の状況（2015年6月～2015年8月期）についての説明、水産総合研究センター復興対策現地推進本部に関連する報告があった。

(3) 関係委員会からの報告

企画広報委員会から、本日の理事会特別シンポジウムについては日本水産学会誌に記録として掲載するとの報告があった。

(4) 魚介類の放射能汚染問題に関するシンポジウムについて

日本学術会議主催の放射能汚染問題に関する公開シンポジウムについて説明があった。

(5) とりまとめ小冊子続編の刊行ほか

企画広報委員会と当委員会で活動をまとめて出版する計画で、本委員会の議事内容も掲載することとなった。

(6) その他

福島第一原子力発電所の廃炉に関する関連学協会の情報が紹介された。また、水産総合研究センターから放射能調査研究成果出版物の紹介があった。

第16回委員会

1. 日時・場所

日時：2016年2月6日（土）（10:30～12:00）

場所：東京海洋大学品川キャンパス1号館221号室

2. 議事概要

(1) 災害復興支援拠点および水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）からの報告

三陸・常磐 水産の状況（2015年9月～2015年11月期）および同（2015年12月～2016年1月期）の紹介があった。また、水産総合研究センター復興対策現地推進本部（東北区水産研究所）の追加説明があった。

(2) 関係委員会からの報告

水産環境保全委員会から沿岸環境関連学会連絡協議会の東日本大震災に関するシンポジウムが

紹介され、巨大防潮堤に関する議論が行われた。理事会主催シンポジウム記録の企画と、小冊子についての作業報告があった。

(3) 理事会主催シンポジウムの事後報告

前述の日本水産学会誌に要旨を掲載する作業についての紹介があった。

(4) 魚介類の放射能汚染問題に関するシンポジウムの事後報告

日本学術会議主催公開シンポジウムの開催結果が報告された。

(5) とりまとめ小冊子続編の刊行の進捗状況について

この内容は議題(2)で協議され、重複する議論は行われなかった。

(6) 今後の方針について

震災後5年経過することに合わせて日本水産学会の総括が必要であることなどについて議論が行われた。また、次期の理事会の下での本委員会の継続およびその体制についての議論が行われた。

以上